

令和5年度 大阪府立大手前高等学校
第3回 学校運営協議会（全日制部会）

令和6年3月21日(木)
10:00~12:00
大手前高等学校校長室

出席者（委員）：

会長 岡村 高明 委員、副会長 兵庫 将夫 委員、高折 和男 委員、後藤 光弘 委員、高橋 哲也 委員、野口 幸一 委員

出席者（学校）：

校長 村田 純子、教頭 出口 学、首席 森蔭 溪、首席 文田 憲行

議題：

- (1) 学校経営計画について
 令和5年度 学校経営計画
 令和6年度 学校経営計画
- (2) 令和5年度学校教育自己診断結果
- (3) 生徒状況・行事等の報告

【委員の主な意見】

- ・東京大学合格者に関して、大手前高校の取り組みである東京研修の参加者かどうか気になった。取り組みの効果を見る上でも分析してほしい。
- ・3学年共通の自習室は、先輩の学ぶ姿を見て自学する場として評価できる。生徒が教え合う質問室を併設するなど、更なる自学を促す仕組み作りが望まれる。
- ・基礎学力と自己教育力の育成を全教科で議論していることは評価できる。各教科で育成すべき学力の基準を明確にし、共通認識を持ち議論することが大切である。
- ・高校の私学無償化が進む中、多くの教育活動を通して成長できる公立高校の良さを伝えると共に、学力保障の視点をより明確にして地域に発信することが必要である。
- ・「生徒が生徒を育てる」という学校にしていてもらいたい。コーラス大会などの行事や学習面において、身近にいる先輩の姿がロールモデルとなっているように。そうなるように、どう仕掛けていくかが学校経営で重要なことである。
- ・（学力向上PTの話を受けて）教員個人の中では、学力をどの時期にどれくらい身につかせるか基準はあるかもしれない。ただ、大手前高校として最終的な目標はあるのだから、そこに向かってどの時期にどれくらいのことを目標に立てるか、というのは各教科で共通認識を持ってほしい。学年ごとに「生徒の実態に合わせて」という言葉で逃げないようにシビアに向き合っていないといけない。